



阿南高専便り

**全国高専
プログラミングコンテスト
出場全4チーム受賞!!**



CONTENTS

2… 校長からのメッセージ

3… 卒業を祝う

- ・機械コース
- ・電気コース
- ・情報コース
- ・建設コース
- ・化学コース

8… 修了を祝う

- ・専攻科

9… 海外インターンシップ感想

ニュージーランド語学研修感想
台湾研修旅行報告

10… 第29回全国高専プログラミングコンテスト
四国移動型&自律型ロボットトーナメント2018
(SMART2018)の開催

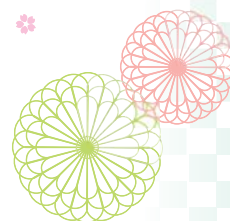
11… 高専ロボコン2018 四国地区大会出場報告
第15回 全国高等専門学校デザインコンペティション
(デザコン2018 in 北海道)参加報告

12… 第40回 四国地区高等専門学校総合文化祭
第13回 蒼阿祭

13… 人権教育便り
別れの言葉

14… 図書館だより

16… 各種大会報告
編集後記



校長からのメッセージ

創造技術世代の若者たちへ

校長 寺 沢 計 二

5年前、阿南高専の学科再編で誕生した創造技術工学科の第1期生がいよいよ卒業します。そして4月から社会人として羽ばたく皆さんは、奇しくもその僅か1ヶ月後に、新天皇陛下ご即位に伴う新しい時代の社会人第1期生、という新たな「看板」を背負うことになります。

果たして次はどんな時代になるのでしょうか？

平成の約30年は、工業技術という観点からみると、まさにICT、デジタル化が一気に花開いた時代でした。パソコンやインターネット、携帯電話が急速に普及、テレビも地デジ化し、今や誰もがスマートフォンを手にして、人やモノすべてがネットワークで繋がり（IoT）、膨大なデジタルデータを人工知能（AI）が操る時代へと突入しようとしています。

世界トップ企業のひとつであるトヨタ自動車のこんなコマーシャルをご存知でしょうか。「トヨタの社長が・・・トヨタはクルマのメーカーじゃなくなる、って言っていた」「すべての人に移動する楽しさを提供するモビリティ・カンパニーになる。そのためにトヨタは変わる、って言うんですよ」

俳優の香川照之がひとり語りをするこのコマーシャル。

モノが世界中に溢れ、IoT、AIやロボットなどの最先端技術が進んだ今日、これからはモノに価値を求める時代から、人々の多様な欲求を満たすコトに価値を見出す時代へと変わりつつあると言われています。日本の政府や経済界は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く5つめの社会という意味を込めて「Society 5.0」を日本が切り拓いて行くというビジョンを提唱しています。

限りない人間の欲求を満たすのにAIやICTが果たしていく役割はますます大きくなるとみられますが、それはいったいどこまで行くのか。AIやICTで満たしきれない人間の欲求はどこに向かい、技術はそれにどう応えていくのか。今も依然として世界に冠たる日本の「ものづくり」技術は果たしてどこに向かっていくのでしょうか。

その答えは、これからの時代を切り拓いていく「創造技術世代」の皆さんが自ら創り出していくことになります。これから先、人工知能やロボットがどれだけ発達しても変わらず確かなことは、新たな価値を創造しその恩恵をさらに発展させられる技術者が求められる、ということです。

創造技術工学科では、1年次の混合学級から始まり、アクティブラーニング手法も駆使した専門科目の実習や4年次の共同教育、5年次の副専門などを通じて、専門分野への確固たる知識を基礎に幅広い工学分野で創造的に活躍できる技術者としての基礎を身につけてきました。またその間、地域の企業などにもご協力をいただいて、コーオプ教育やインターンシップなどにも取り組み、実社会に通用する実践力を育んできました。そうした成果の一端が、先のアスティとくしまで開催された全国高専プログラミングコンテストで出場4チームすべてが入賞を果たすという画期的な結果として現れたのではないかと考えています。

今年卒業する第1期生、そしてこれに続いていく創造技術世代が、地域、日本、そして世界へと羽ばたき、未知なる新たな時代を切り拓く素晴らしい活躍をしてくれることを心から願っています。



体育大会

贈る言葉

運が良い人の習慣

機械コース 主任 原 野 智 哉

ご卒業おめでとうございます。5年間、みなさんが勉学・部活動・インターンシップなど多様な経験を積み、頑張りを継続した結果卒業を迎えられたと思います。さて、実社会で技術者として大成するには何が必要でしょうか？技術者として常にデータや事実を偽らないでもののづくりの仕事をこなすことは言うまでもありませんが、そういった努力に加え、とくに大きなプロジェクトを成功に導くには、周囲のたいなる協力が必要不可欠になります。そのとき運の良い人にはすぐに多くのよき援助があり、運の悪い人にはなかなか助けが得られないことがあります。そこには、運の良い人の習慣というのがあるそうです。その習慣とは様々なことに感謝することだそうで、自分の置かれている状況を不平・不満に思うのではなく、感謝に変えることこそポジティブシンキングであり、このプラス思考が実は物事を良い方向に運ぶ重要なキーになっているそうです。私自身も常に感謝できているかと言われるとそうでないときが多くあるように思います。しかし、よく思い返してみると「ありがたい」と思いながら物事をしたことは良い結果に結びついているような気がします。プラス思考が周囲をプラス思考に変え、物事を良き方向に変化させるからでしょう。ぜひ、みなさんも企業や大学でいろいろなことがあります。感謝を忘れずに「ありがとう」を口癖にしてみたいはいかがですか？最後に、松下電器の松下幸之助の言葉を示します。「運が良かったという人は、周りの人に助けられてきたという『感謝』の気持ちのある人で、たとえ逆境に陥っても（運のせいにせず）前向きに取り組める人物だ」

乗り出せ我が海原へ！

機械コース 5年担任 多 田 博 夫

「それ錨あげ波乗り越えて、乗り出せ我が海原へ♪」

子供の頃に歌った記憶は無いだろうか？贈る言葉を考えていたら、阿南YMCAで学生ボランティアらと共に歌った「船乗りの夢」を思い出した。君たちの前には広大な海が広がり、遠くには水平線を望む。君たちの行く先には何があるのだろう。

さて、はるか彼方に見える水平線も、浜辺からでは数キロしか見えないらしい。無限に見えて実際には狭い世界。これから先の長い人生、君たちはどう生きるのだろう。じっとして居ても時間は過ぎる。願わくば、達成感を実感できるチャレンジをして欲しい。実際に、まだ見ぬ海原へ乗り出して欲しい。君たちは、荒波も乗り越えられる実践力があるはずだ。

「風吹き猛り船ゆれるとも、怖るな阿南高専の卒業生よ♪」



研修旅行(姫路城)

5年生の言葉

■機械コース

1年担任 谷中俊裕、藤井浩美、田上隆徳、松尾俊寛
2年担任 藤 井 浩 美 3年担任 安 田 武 司
4年担任 大 北 裕 司 5年担任 多 田 博 夫

■バスケットボール

岡 大 地

高専で一番力を入れたことは部活動です。私が1年生の時には、先輩の練習が厳しくて何度かやめようと思ったこともありましたが、同期の仲間とともに頑張りました。キャプテンも経験し、よりいっそうバスケットボールに打ち込みました。県の総体や四国高専大会では良い結果を残すことができませんでしたが、先輩や後輩、なにより同期とともに頑張ったことで、バスケットボールをととても楽しむことができました。

■甲子園への切符

川 下 大 成

夢と希望を乗せた阿南高専野球部甲子園号は二駅で途中下車という形で幕を下ろした。走り出しは快調で、破竹の勢いとはまさにこのことと突っ走っていった。だが、二駅目に落とし穴があった。二つ目の駅には魔物が住んでいるというわさは聞いていたが、それは確かであった。ここまでの乗車は苦労するばかりのことの方が多かったが、降りてみればまた乗ってみたいと思う日が続けばかりである。

■部活動

倉 橋 将 太

部活動はサッカー部に所属していた。本科1年の時から毎日練習をした。練習は毎日厳しく、先輩たちについていくのに必死だった。その中でも頑張ったことは、居残り練習をしたことだ。練習でイメージしたプレーができなかったらその原因を探し、次の練習で改善しスキル向上に努めた。この小さな積み重ねが大切だということがわかり、部活動でしか味わえない経験ができたと感じる。

■転生という名の5年間

斎 藤 優 介

今考えると、この5年間は恐ろしく内容の濃い5年間だったように思います。中学校からたった一人で入学し、たくさんの人々に出会い、大切な友達ができ、様々な困難を乗り越えました。振り返ってみると、この5年間で、私はまるで転生したのではないかと思うくらいに変わったと感じます。ここまで成長し、自分を変えることができたのも、応援し、支えてくれたすべての人のおかげです。皆様、これまで本当にありがとうございました。

■あっという間の5年間

鈴 江 宏 毅

「5年間は長そうだな」と言っていた入学生からはや5年。勉強に部活、研究などであっという間に5年生を迎えました。1～3年生までは制服で登下校をしていましたが、4年生からは私服。はじめは違和感がありました。ほぼ毎日、弁当を作ってくれた母にはたいへん感謝しています。学校生活では多くの友人に支えられてきました。この5年間で振り返って多くの人に言いたいと思います。「ありがとう」。

■部活動

曾我井誠太

一番力をいれたことは部活動である。ソフトボール部に所属し、キャプテンを務めた。人生で初めてキャプテンを務め、悪戦苦闘の日々であった。周りに助けられ何とか頑張ることができた。そして最後の大会となる総体を迎えた。強い日差しの中、初戦は苦戦したが、その後は順調に勝ち3位となり、四国大会に出場することができた。チームメイトと頑張った日々は私の宝物だ。

卒業を祝う

電気コース



贈る言葉

人生 100 年時代に向けて

電気コース 主任 松本 高志

ご卒業おめでとうございます。進学する人はもちろん、就職する人も学び続けなければなりません。ある研究によれば、2007年に日本で生まれた人の半数が107歳より長く生きると推計されています。このような長寿社会においては、高齢まで働き続けなければならないでしょう。今後15年ほどで、ロボットやコンピューターの技術革新によって従来の仕事のうち多くがロボットやAIに置き換わると予測されています。一方で、変化の激しいグローバルな現代社会では、新たな仕事も現れると言われており、学生時代に学んだことをもとに一生働くわけではなく、卒業後も新しいことにチャレンジして人生を開拓していく必要があります。学生時代に学んだことを基盤としつつ、様々なことに興味をもって学びを続けてください。皆さんの活躍に期待しています。

賢者は過ちや失敗から 未来のための知恵を学ぶ取る

電気コース 5年担任 中村 厚信

卒業生みなさん、また保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。4月からは、また新しい環境で、新たな経験を積んでいくことになります。その経験の中には成功も失敗もあるでしょう。成功体験は自信につながり、次への意欲を引き出してくれます。しかし、より多くの教訓を教えてくれるのは、過ちや失敗だと思います。何事にも失敗を恐れず、チャレンジしてください。成功すれば次の目標に向かって飛躍でき、失敗すればその中から未来に備えるための知恵を学び取れます。皆さんの実り多い未来を信じています。



製作物



5年生の言葉

■電気コース

1年担任 谷中俊裕、藤井浩美、田上隆徳、松尾俊寛
2年担任 坪井 泰士 3年担任 西尾 峰之
4年担任 藤原 健志 5年担任 中村 厚信

■資格取得

榎本 弘和

私がこの5年間で力を入れたことは、資格や検定等への挑戦です。資格や検定は、なぜか定期試験の日程に近く、試験勉強との両立はかなり厳しいものでした。しかし、それを乗り越えて合格を勝ち取り証書を受け取る時の感動は、言葉では言い表すことができないほどに素晴らしいものです。これからの専攻科での2年間でも、今までのように、困難な状況に屈せず、何かに挑戦し続けていきたいです。

■ボランティア

黄田 修音

ボランティア活動に打ち込んだ。その中で心に残った言葉が「人のために考え、行動し、幸せになってくれる人がいることがやりがいだ」というものである。自ら児童館の方にコンタクトを取り手伝いをしたので、本当に力になっているかという不安があった。しかし、子どもたちの「ありがとう、お兄ちゃん」という言葉に大きなやりがいを感じた。これらの経験から自ら考え行動する力、人のために行動できる力を身につけた。

■5年間で学んだこと

近石 俊

4年前にこの学校に入学し、気づけば5年生になっていた。この5年間で多くの友達に出会うことができ、いろんな思い出ができた。2年からコースに配属され、さらに寮での生活と一緒に過ごす時間が増え、楽しく過ごすことができた。この学校では専門的なことだけではなく、人との関わり、考え方など多くのことを学ぶことができ、学年が上がるとともに自分自身が成長できた。今は、ここに入学して良かったと思っている。

■5年間やり通した

中島 祥太

僕は寮で5年間生活をしていて、部活動がない時や用事がない時は、友達と17時に風呂に行き、17時30分に食堂に行き晩御飯を食べています。最初仲間は8人くらいおり大人数でしたが、数人が退寮し、今は多くて6人、少ない時は4人になりました。それでも17時は風呂、17時30分には晩御飯という日課は変わっていません。5年間もよく貫き通したことだと思います。寮で友だちと過ごしていることならではの思い出です。

■時間

松島蘭太郎

この学校は、自由な時間がとてつもなく長い。自分のしたいことや趣味に時間を割けた。趣味が増えた。靴の収集や靴磨き、バイクツーリングにキャンプ、自転車で思いっきり走って走りまわったり。時間が私生活を重宝させてくれた。自分の時間の重要性を知った高専生活だった。これからは自分の時間はそれほど取れないかもしれないけれど、「遊ぶ」ことを忘れない人生を送りたい。

■寮での経験

真鍋 仁

私が高専時代に力を入れたことは、寮で現在も行っているゴミゼロ運動です。この活動は実際には上勝町で行われていることで、ほとんどのゴミをリサイクルするというものです。私は環境委員長をしていましたので、ゴミ分別の細分化などを他の環境委員と協力して行いました。ゴミの捨て方を変更したので分別作業を行う際はとても苦労しました。この委員長を務めたこと、新しいことに取り組んだことはとてもよい経験となりました。



贈る言葉

一人家電メーカー

情報コース 主任 杉野 隆三郎

諸君は、八木啓太という起業家を知っているだろうか。彼は、宇部出身の電子技術者で、現在は株式会社ピーサイズの代表取締役社長であり、日本における一人家電メーカーの第一人者として活躍している。学校の勉強には興味を持っていないが自分のやりたいと思ったものには専門書や技術雑誌に当たり、独力で学習して作り上げてしまうという「根っからのエンジニア」である。彼のやりたいことはことはただ一つ、「カッコいい家電を作る」である。このことを実現するためのロードマップを高校時代から考えていて到達した結論は、「電子工学」「機械設計」そして「デザイン」を身に着けること。そのために、大阪大学の電子工学科に進学し、修士課程までは専門の電子工学を勉強する傍ら、デザイン書を買ったり、自らCADソフトを入手してデザインを独習した。機械設計の基本を習得しようと富士フィルムに就職し、企業人としてのものづくりを学ぶことになる。そして、3年9か月の会社員生活に終止符を打ち、一人家電メーカーを起業、かねて考えていた色再現性に優れたLED光源を用いた電気スタンド「スクロール」を開発し、販売した。人間工学的に極めて優れたデザインを持つスクロールは、グッドデザイン賞など国内外のプロダクトデザインの賞を総なめにして、一人家電メーカー「ピーサイズ」のマイルストーンとなるのである。自分のやりたいことを実現するには大企業よりも一人でメーカーを起業することであると気づいたことが、八木氏の尋常ならざる天賦の才の持ち主であることを示している。しかしながら、現代日本におけるネットワーク社会のあり様と、その周辺で沸き起こった大小さまざまなIT企業とその業務環境の変化が「一人家電メーカー」を成立させていることは論を待たない。すなわち、一切の工場機能を持たない米国アップル社のような「ファブレス・メーカー」の登場である。八木氏のような一人家電メーカーは現在、日本国内にいくつがあるが、創業者たちが言っていることにはいくつかの共通点がある。「この世にないものを作る」、「人が喜ぶものを作る」、そして一番のキーワードは「自分が欲しいものを作る」である。多分に自己中心的な今どきの若者が言いそうなことだと一蹴するのは簡単だが、これにはちゃんとした理由がある。それが、スティーブ・ジョブズ率いるアップル社の快進撃を支えた「フューチャー志向デザイン」である。「自分が欲しいものはこの地球上のどこかで必ず欲しい誰かが存在しており、情報化社会を十分に活用することでヒット商品になる可能性が小さくない。」解決策は「未来からやってくる」のである。

八木氏もひとりの天才であろう。また、大企業を辞めて「一人企業」することには幾多の困難が待ち構えていることは百も承知だ。だが、これからの未来に生きていく諸君らにあえて言おう、「未来を見よ、ひたすら未来を考えよ、そこに解決策が必ず存在する」これが私の送る言葉である。

情報コース1期生

情報コース 5年担任 福田 耕治

1学科多コース制への移行に伴い、制御情報工学科は情報コースになりました。君たちはその1期生として素晴らしい活躍を見せてくれました。その最たるものが学会発表です。各学会の四国支部学術講演会を中心に全国レベルでの講演会も含めて25名ほどが独立したテーマで発表しています。さらに、全国プログラミングコンテストには4チームが選ばれ、競技部門3位、課題部門で優秀賞や企業賞、自由部門で特別賞をそれぞれ受賞し、全チームが何らかの賞を受賞しました。また、このほかに各種のコンテストに参加し、優秀賞や特別賞を受賞しています。これらに加えて、蒼阿祭での専門展示や1日体験入学など、グループで活動しクラス全体で運営することができ、それぞれに周囲の方々からも高い評価をいただいています。

卒業後も、これらの活動をさらに発展させ社会に貢献する有用な人材として活躍してくれるものと大いに期待しています。

5年生の言葉

■情報コース

1年担任 谷中俊裕、藤井浩美、田上隆徳、松尾俊寛
2年担任 柳田雅弘 3年担任 平山基
4年担任 福見淳二 5年担任 福田耕治

■私の好きな人

岡田 萌香

最初、高専に入学した時、期待とドキドキでいっぱいだった。寮で違う意味のドキドキが変わったが、代わりに大好きな友達ができ、たくさん笑いあい、楽しみ、時には喧嘩もしたけど、今では良い思い出。毎日が嫌になった時も友達がいってくれたおかげで楽しくなれたし、部活も頑張れた。期末終わりの寮での菓子パの賑やかさは今でも忘れられない。4年間!女や他のクラスの皆がいて、楽しい学生生活になりました。ありがとう。

■学会発表

岡本 昂也

高専時代にいちばん力をいれたことは、卒業研究だ。4年の時からテーマを決め、論文を探して読み漁り、わからないことだらけのテーマについて調べつくした。そして5年では卒業研究の授業時間以外にも、家で勉強し、研究を進めた。その成果もあり、私は名古屋での学会発表に参加することとなった。大人数の中での研究発表は緊張するものだ。これを乗り越えられたのも、今までの頑張りや授業でのプレゼンがあったからである。

■友人

中野 大成

私は東京の企業に就職する。しかし、クラスメイトのほとんどは関西圏で就職すると聞いた。上京するのは、38人中、たったの数人である。やはり故郷が恋しいのだろうか。かくいう私も、都会暮らしと満員電車へのストレスに今から怯えている。5年間も同じクラスで学生生活を過ごしてきた温室育ちの僕たちに社会人という佳境を乗り越えることができるのか。いつか仲のいい友人と集まって飲み明かし、愚痴をこぼし合いたい。

■忙しかった日々

新見 優里

一番力を入れたことは、課外活動である。吹奏楽部で初めて楽器に触れた。人前で演奏した時の達成感は毎回忘れられない。初心者だった私だが、最終的には部長も務め、尊敬する先輩にも出会うことができた。文化祭の執行部にも入り、準備、運営に忙しい日々を送った。中学時代の私では考えられないくらい、多くの経験をした。今、5年間を振り返ってみると、毎日充実した生活だったように感じている。

■ステップ

藤田理紗子

高専を受験することに決めた時、私は進学し、最終的に携帯電話に関する仕事に携わりたいと考えていた。しかし、4年次の夏休みに体験したインターンシップで、進学も就職先も変更することになった。中学生の自分が知ったらどのような反応をするだろうか。過去の自分に呆れられないように、これから先の社会人生で自分の人生に誇りを持てるようにしたい。次のステージへのステップとなった高専生活には、無駄なことは何一つなかったと信じている。

■同じ高専生の友だちへ

舩田 冨

高専では今まで会ったことのないような個性を持っている仲間と出会えました。中学生まで、今より田舎の狭いつながりの中で生きてきた私には、驚くことが多かったです。たくさんの驚きくれた高専のみんなには感謝しています。私にとって最終学歴の友だちです。大好きな友だちには愛と感謝を込めてたくさんお礼したいです。変わり者のみんなに…ありがとうございました。



球技大会



贈る言葉

為せば成る...

建設コース 主任 吉村 洋

ご卒業、おめでとうございます。みなさんの気持ちの中には、これからの就職先での仕事や進学先での学習、また新しい場所での生活など、希望に満ちたもので充実しているものと思います。みなさんには、有り余るエネルギーがあり、無限の未来が開けています。自分の感性を大切に、これからのことに対応していきましょう。『為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり』は上杉鷹山のことばです。また、一人でやってみても、なかなかできないことも多く出てくるものと思います。特にわれわれ建設分野の仕事は一人黙々とこなしていけることはほとんどなく、多くの人の手を経て、協働で作られていくものばかりです。高専で得た人的ネットワークを大切にするとともに、より多く、機能的な人的ネットワークを形成していきましょう。創造技術工学科建設コースの1期生として矜持を保ち、これからの活躍を期待しています。

新しいスタートライン

建設コース 5年担任 池添 純子

ご卒業おめでとうございます。私は幸運なことに、みなさんの担任として2年間一緒に時間を過ごすことが出来ました。みなさんが悩みながらも、将来について真剣に向き合う姿をみてきたからこそ、新しいスタートラインへ送り出すことが出来とてもうれしく思います。

今まさに新しくスタートする生活では、これまでも増して多くの出会い、学び、成長が待っています。心を柔らかく持ち、スポンジのごとく吸収して、まだ自分でも出会えていない新しい自分を発見してください。これから先も（これから先の方が）人生の岐路はたくさんあります。自分の気持ちを信じ、自分らしい人生を歩んでください。悩み苦しいこともあるかもしれませんが、そんな時にはちょっと休憩したり、人に相談することも大切です。またいつか、みなさんに会えることを楽しみにしています。



測量実習



5年生の言葉

■建設コース

1年担任 谷中俊裕、藤井浩美、田上隆徳、松尾俊寛
2年担任 谷中俊裕 3年担任 吉村 洋
4年担任 池添純子 5年担任 池添純子

■テニスの楽しさ

大西 友樹

高専生活で力を入れたことといえば、やはりテニスがいちばん。空いている時間があればテニスをしてきた1年。少しだらけていた2年。総体に向けて頑張った3年。全国高専大会優勝を目指した4、5年。5年間一緒に練習してきた同級生は、最高の仲間だった。キャプテンという立場で人をまとめる難しさを知り、全国高専大会優勝の、今まで感じたことのない内容は一生忘れないだろう。本当に楽しかった。ありがとうテニス部！

■お母さんへ

折野 未歩

高専に入学して5年間、ほとんど毎日お弁当を作ってくれた。部活の試合がある時は、鳴門まで送ってくれて、試合が終わるまでいてくれた。木の陰から私に見つからないように試合を見ているのを探るのが好きだった。国体に参加するようになってからは、週に何回も鳴門まで行くのに文句を言いながらも付き合ってくれた。今まで口にしたことはなかったけど、感謝しています。卒業したら初任給で何かご馳走するから、楽しみにしてて。

■5Cのクラスメイトへ

高木 茜

5Cのクラスメイトに感謝の気持ちでいっぱいです。私のクラスは2年生の時、休み時間になっても誰もしゃべらず、とても重たい雰囲気、授業のたびに先生から、このクラスは静かだねと言われていました。その後、生活を共にすることで、今では男女問わず、仲の良いクラスとなることができました。このクラスメイトのおかげで、勉強や学校にも楽しく行くことができ、充実した高専生活が送れたと思います。ありがとう。

■こころ

遠山 秀

学校生活は部活のためにあると考え、四六時中部活のことを考えた。通学、授業や家での生活も全て部活のことを思っていた。その成果により、徳島県総体団体優勝や県団体国体選手になることができた。この部活動から学んだことは、気持ちの大切さだ。どれほど練習を行っても気持ちが入っていなければ身に付くことはない。何事も気持ちが始めの一歩ということを思った。気持ちがあれば失敗しても次につながる。

■文武と朗笑の連立

豊田 祥基

入学時の目標は文武両立だった。制服を着ていた頃は野球に力を入れ、エースとして奮闘した。私服を着るようになると、勉強に力を入れ、進学のために尽力した。思い返すと、その文武をいつも笑いが支えてくれていた。学校では友達や先輩後輩と盛り上がり、家ではいつもの笑顔が待っていた。これが僕の高専生活の全てだった。つらくて楽しい時間も、思えば一瞬だと感じた。だからこそ、今の瞬間を楽しみ、笑い合いたい。

■交流

佐保 雄大

高専で一番力をいれたこと。それは人との交流である。高専生活では、蒼阿祭の執行委員など人と関わる仕事を多くこなした。これらの経験は私を大きく成長させた。蒼阿祭のゲート班の班長を務めた時は、自らが積極的に仕事をこなすこともあったが、低学年とコミュニケーションを取り、低学年が主となり仕事ができるようにながした。このコミュニケーション能力は、社会に出て役立つだろう。

化学コース



贈る言葉

辟土

化学コース 主任 吉田 岳 人

化学コースの皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは伝統ある阿南高専において、化学を専門とする一期生として、4年間を過ごしました。直属の先輩がいない、講義・演習・実験、その他装置類も導入しながら、と苦労も多かったと思います。このことはよい方向に促ると、皆さんは一回限りの一期生であり、阿南高専化学コースのフロンティアです。卒業後も自覚と誇りを持ち続けて下さい。

最後に皆さんが職業についてからの話を一つさせて下さい。早ければ20代の終わり頃、遅くとも40代の初めまでに、きっと大きな壁に遭遇するでしょう。この壁は、真面目に、熱心に、誠意をもって仕事に臨んでいる人ほど、より高く・分厚く・堅い、という大変やっかいな性質を持っています。工学・技術、経営、あるいは人事上のことが、今はわかりません。在学中は勉学と研究に励み、さらに実社会の若手技術者として研鑽を積むのは、この壁を突破するためともいえます。持ち前の技術力と人間力を結集して、この壁を超えたとき、以前には想像もできなかった新たな地平を見ることができるようでしょう。今よりさらに、大きく逞しく成長した皆さんに、再会できる日を楽しみにしています。

化学コース一期生の卒業バンザイ!!

化学コース 5年担任 西岡 守

化学コース5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

平成31年3月15日は化学コースにとって記念すべき第1期生卒業式です。さて、私たち人にとって、四つ究極の幸せがあると有名な住職さんが言っていました。それは、人から愛されること（愛されるとうれしいです）、人から褒められること（褒められると気持ちいいです）、人から必要とされること（頑張ろうと元気になります）、人の役に立つこと（こころよい達成感があります）だそうです。皆さんは人を幸せにできるように、次のようなことに心掛けてください。それは、人を愛する、人を褒める、人に頼る、人に感謝する、です。

卒業生のみなさん、周りの人と自分を幸せにしてください。
今後の活躍を祈っています。

5年生の言葉

■化学コース

1年担任	谷中俊裕、藤井浩美、田上隆徳、松尾俊寛		
2年担任	中島 一	3年担任	杉山雄樹
4年担任	奥本良博	5年担任	西岡 守

■化学コース一期生

神田 幸

化学コース一期生。先輩はなし、互いに戸惑う先生と学生。記憶が薄れることはありません。試行錯誤の日々に苦労は絶えませんでした。風通しの良い柔軟な環境に感謝しています。学校や寮、家庭で様々な問題を起こし、辞めてしまおうかと悩んだ時、化学コースの先生には大変お世話になりました。「一期生は他とは違う」という言葉に甘えて、毎日のように相談に乗っていただきました。そんな私毛ついに卒業。5年間、楽しかったです。

■楽しく過ごすこと

喜多菜々美

5年間をより楽しく過ごすようにしてきました。Z女子はみんなおもしろくて、フェニックス広場で水鉄砲や水風船をしたことは、一番の思い出です。写真を見返すたびに楽しくなってしまいます。とても自由にできるところが高専の良いところだな、と思っています。卒業まであと少し。思いっきり楽しむことに力を入れて最高の思い出をつくり、思い残すことなく卒業します。

■初めてばかりの高専生活

久保知佐季

私は部活をしておらず、これといって力を入れたことは
思いつきません。でも、新しい友達ができたり、アルバイト
を始めたり、就職活動をしたりと、自分にとって初めての
ことがたくさんありました。しんだい思い、辛い思いを
したこともあったけど、それを踏まえた上で、今、高専に
来てよかったと心から思えます。高専生活は私にとって宝
物、これからの人生で忘れられないものです。

■ 全力で楽しむ

中島由貴

とにかく楽しんで過ごしてきた。私のクラスは女子が11人いるがとても仲が良く、校内で遊んだり卒研室でたくさん語り合ったりした。クラス全員でごはんに行くこともあった。あげたらきりがないが、一番の思い出はパレタインである。女子から男子へ、サプライズでお菓子を用意し、教室を飾った。写真を見せたいくらいよくできていたが、先生には叱られた。本当に楽しい5年間だった。

■生徒と学生と社会人

板東愛梨

高専の入学式で、ある先生が言った「君たちは生徒ではなく学生です。学生は自ら学びにいきます」という言葉が、今でも頭に残っている。そう、私たちは学生。中学生の時のように世話をやいてくれる人はいない。予習も復習もきちんとしないと試験で点数が取れない。赤点は60点。恐ろしい制度の中で頑張て、ついに社会人。社会に出て学ぶことだらけで大変そうだ。

■ 演劇部

平田茉莉安里

演劇部での活動に力を入れました。たくさん舞台に立ちました。袖から出てスポットライトを浴びる瞬間、自分がはじめてしゃべる瞬間、観客にありがとうございましたという瞬間、どれも日常では味わえないドキドキがあって大

好きです。もちろん大変なこともたくさんありました。でもそれも今は楽しかったなと思います。大人になっても思い出して懐かしくなって、部活したいな、舞台に立ちたいなと思うのでしょ。





特別研究中間発表会

贈る言葉

遊戯三昧

専攻科長 西野 精一

専攻科修了おめでとうございます。専攻科での2年間は、長期間のインターンシップ、海外留学、特別研究とその成果の学会発表、本科の「共同教育」のグループワークのファシリテーションを行ったり、ドイツからの来日学生団と協同作業を行うなど、充実した日々を過ごしたと思います。皆さんは、専門知識と課題解決能力、コミュニケーション能力等のエンジニアの基礎を身につけ、本校の学習・教育到達目標を達成しました。また、専攻科で共に学んだ仲間や特別研究の指導を受けた先生方との絆を深めることができたことと思います。

最後に皆さんに「遊戯三昧」という言葉を贈ります。どんな状況にあっても、自分がなすべきことに無心で取り組み、その状況を「遊び」のように楽しむという意味です。皆さんはこれから社会に出て様々な課題に直面することと思いますが、どんなときでも努力を忘れず真摯に課題に立ち向かい、その状況を楽しみ、自分を高めてください。今後も、企業や大学院でさらに自己研鑽を積み、プロのエンジニアとして日本の発展に貢献してくれることを期待しています。

前程万里

2MC担任 川畑 成之

2MCの皆さん、修了おめでとうございます。専攻科に入学してから早2年、充実した学生生活を送れたでしょうか？皆さんの2年間の成長を間近にみて嬉しく思います。

皆さんはこれから、研究者として、技術者として一歩を踏み出し、社会の一員としての務めを果たしていく中で、人と意見が対立することもあるでしょう。しかし対立があるからこそ物事に深みが生れます。失敗を恐れず、最善の方法を探しましょう。

パナソニック創業者松下幸之助氏の言葉に、「人は何度やりそこなっても、「もういっぺん」の勇気を失わなければ、かならずものになる。」とあります。皆さんの行く先は明るく、白いみちが続いています。自ら信じたみちを堂々と進んでください。

夢に向かって

2ES担任 長谷川 竜生

専攻科電気・制御システム工学専攻のご修了、おめでとうございます。試験勉強や課題、クラブ活動、研究活動など、楽しい、時には辛い高専生活を過ごして、その中で多くのことを学び、様々な貴重な体験を得て来られたと思います。皆さんはいよいよ、これから、就職や進学など新しい道を目指して胸を膨らませながら、夢を持って歩き出します。これからの長い道は、楽しい出来事だけでなく様々な困難に出会うと思いますが、ぜひ、夢を忘れないで、勇気を持って歩いて下さい。皆さんが生まれてから、技術や社会の進歩は目覚ましいものがあり、今後はどのような未来が待っているのでしょうか。本校で学んだ知識や技術を糧に、大いに活躍されることを期待しています。

2年生の言葉（構造設計工学専攻）

■高専で過ごした7年間

2MC 魁生 誠

本科1年生として入学してから7年が経ち、いよいよ卒業の時期を迎えました。高専で過ごした7年間は長いようで、思い返せば一瞬であるように感じます。高専での生活の中で多くのことを学び、経験しました。特に、専攻科での2年間は特別研究、インターンシップなど本科以上の経験を積むことができ、大きく自分を成長させることが出来ました。また、入学した当初は将来の目標や自分の進路についてもあいまいなイメージしかもっていませんでした。しかし、今では具体的な目標を持ち、進路を決め、行動することが出来るようになりました。高専で過ごした7年間は自分にとって、そして自分の将来にとって重要な7年間となりました。最後に、勉強や研究をはじめ、多くのことで大変お世話になった先生方に心から感謝を申し上げます。

■高専での生活を通して

2MC 柴原 一帆

私は、2012年に入学し今年2019年に卒業します。計7年とこれまでに過ごしたどの教育機関よりも長い年月を阿南高専にて過ごしてきました。寮生活や、普通校では行うことのできない専門の授業、専門の実験などはとても良い経験となり、自身の糧となりました。また、本科から専攻科へと進学し、専攻科にて過ごした2年は、本科にいた際と異なり、機械科との複合学科という事から、機械分野の専門科目も受講する機会を得ることができ、自身の見聞の広がりへとつながったと感じています。この7年間は、先輩や先生方、友人などの様々な人々に支えられてきたものと思います。最後に、貴重なご指導をいただきました教員並びに技術職員の皆様に、心からお礼申し上げます。

2年生の言葉（電気・制御システム工学専攻）

■高専生活を通して

2ES 神元 将太

本科で5年間基礎的な知識や技術を学んだ後、専攻科での2年間でより専門的な知識や技術を学ぶことができ、非常に充実した7年間の生活を送ることができました。特に、専攻科での2年間は特別研究や長期インターンシップ、学会発表などの貴重な経験をすることができました。学会発表に向け同じ研究室の仲間と共に切磋琢磨しながら、また先生方の助言を頂きながら特別研究を行ってきました。迎えた学会発表では、同じ研究内容でも自分の知らないことがあふれており、奥深さに衝撃を受けたと同時に感動し、大学院への進学を決意したのを覚えています。大学院では、高専生活での経験を生かして、日々勉強と研究に励みたいと考えています。これまでお世話になった先生方に厚く感謝いたします。ありがとうございました。

■阿南高専での7年間

2ES 武市 慎矢

私は本科5年、専攻科2年と7年間にわたってこの阿南高専にお世話になりました。入学時には本科卒業の5年先ですら遠く感じていましたが、気づけば専攻科まで修了して7年もの時間が過ぎていました。本科では電気電子分野を学び、専攻科では学科の枠を超えて幅広い専門知識を学ぶことができ他分野の面白さを知ることができました。長期インターンシップや研究、学会発表などの様々な経験をした専攻科では、大変ながらも充実した意義のある2年間だったと、間違いなく言える時間を過ごしたと思います。来年度からは社会人として生活をしていきますが、阿南高専の卒業生として誇れる技術者になれるよう日々研鑽していきたいです。

最後に、高専生活の7年間でお世話になったすべての方々に心より感謝申し上げます。



創造設計工学演習

海外インターンシップ感想

1ES 永島穂高

I studied at Central Electric Power College(CEPC) in Vietnam for 2 months. I learned about electrical engineering and experienced various cultures through food, clothing and housing. The days in Vietnam were very exciting. I knew some things about Vietnam before I went there, but I did not know in detail. So, when I actually went there, I was surprised at many things. For example, the low cost of living and the number of motorcycles. I was surprised at them every day. In addition, the beach and Hoi an at night with lots of lantern lights were really really beautiful. I feel very good that I went to Vietnam. Especially, what I was surprised at the most was the kindness of the people. Vietnamese people always talked to us with a smile and taught us a lot of things. I was worried because it was the first time for me to go to Vietnam, but I was helped by their kindness. I am not good at talking to others, but I want to be able to do it like them. I really appreciate CEPC teachers, CEPC students and the staffs who took care of us, I was able to have a fulfilling life and study fruitfully in Vietnam. I would like to cherish the days I spent with them. (留学先：中央電気短大 ベトナム)



1ES 山本浩平

I visited the Republic Polytechnic in Singapore and took part in a study of the laboratory for two months. I gained various experiences there. The life in Singapore is different from that in Japan. There are many differences, such as language, food, climate, law, and so on. Singapore is often featured on TV or magazines in Japan as a tourist spot. But when I actually spent two months, the impression of Singapore for me changed. It has two different surfaces; as a developed country and as a developing country. There are many good places to see, not only gorgeous cities but also lively downtowns. In Singapore, we can enjoy its two aspects. During the study at the Republic Polytechnic, I had some opportunities to discuss with professors in English. Then there were many scenes where I couldn't say my opinion in English although I could understand what they say. It was frustrating for me. So, I decided to go on practicing speaking in English. (留学先：リパブリック・ポリテクニク シンガポール)



4M 野田篤志

I would like to tell you my experience studying in Thailand. The reason why I decided to study abroad is I just want to go abroad. That's all. Before I left Japan, I was nervous about my life in Thailand, but I had a really good time there. There are many delicious foods, good people, sightseeing spots. These things could help me to forget my anxieties completely. I prefer Thai foods to that of Taiwan. Through this program, I could experience things like graduation research. It was interesting for me. Probably, you can feel the same when you join this program. Lastly, I would like to express my gratitude to everyone who supported my study abroad in Thailand. (留学先：キングモンクット工科大学 タイ)



ニュージーランド語学研修感想

3Z 赤松瑛夏

I studied in New Zealand during my summer vacation in 2018. During my stay in New Zealand, I stayed with a New Zealand family and went to school on weekdays to learn English. On holidays I took a sightseeing tour of Christchurch with my host family and friends. Also, I enjoyed participating in school activities very much. Christchurch has many tourist attractions. Among them, the most impressive thing is Cardboard Cathedral. The host family greeted me very warmly. It was very difficult to communicate in English, initially I was worried, but now it was a very good experience for me!

4E 橋本日菜子

No words of mine can tell you how wonderful the language training for five weeks in New Zealand was. Every day is my precious memory. On the first week, when my host family talked to me, I could only say Yes or No. And when I got lost, I was often helped out by people in the city. I grew up with many failures. Then I became able to talk a little at a time with host family and classmates. I went shopping and sightseeing with my friends almost every day. We visited Hammer Springs, Transitional Cathedral, Cookie Time, and so on. I think that these experiences improved not only my English ability but also my various abilities such as communication skills and capacity to adapt others. I came to love New Zealand. I wanna go to many countries in the future.



台湾研修旅行報告

台湾研修旅行も4回目を迎え、今年度は30名の2年生、3年生が参加しました。初日は台湾に到着してすぐ國立故宮博物院を訪れ、翠玉白菜をはじめ数々の歴史的な工芸品を見学しました。2日目にはかつて日本が建設した荘厳な庁舎の台湾総督府を訪問し、ガイドの方に内部を案内していただきました。午後は本校との協定校である國立聯合大学を訪問し、語学研修カリキュラムや図書館について説明を受けるとともに、地元企業との交流もありました。士林夜市では台湾のローカルフードを楽しみました。3日目の自由研修では班ごとに台湾の学生さんに台北市内をガイドしていただき、貴重な国際交流の経験となりました。夜は観光地の九份を訪れ、台湾料理と幻想的な夜景を楽しみました。最終日は中正紀念堂で衛兵交代式を見学し、帰路につきました。4日間、盛りだくさんの研修となりましたが、普通の旅行では体験できないような密度の濃い交流を通して、様々な角度から台湾の文化に触れることができたのではないかと思います。



第29回全国高専プログラミングコンテスト

プログラミング同好会顧問 吉田 晋



優秀賞



特別賞



さくらインターネット賞

第29回全国高専プロコンが10月27～28日、徳島市のアスティとくしまで開催されました。阿南高専として初めて全国プロコンの主管校を担当し、本校の情報コースの学生と学生会およびボランティア学生の献身的なサポートと活躍により、参加された全国の高専、企業から高い評価をいただきました。コンテストでは、本校は課題部門で2案、自由部門で1案が予選通過し、競技部門と3部門4チームが出場しました。本校のプログラミング同好会メンバーは、主管校、地元開催ということで入賞目指して一丸となって取り組みました。

課題部門「ICTを活用した地域活性化」テーマでは、県南の市町村と連携した星空をテーマにした「StarGallery—素敵な星空を見に行こう—」という遠隔で天体望遠鏡と高感度カメラを操作可能で星空を配信できるシステムを完成させました。もう一つは、自然の山道を活かしたイベント支援システム「やまおくのほそみち—見張り灯籠で安心安全—」で、イベント参加者が持つBLEタグを検知して、参加者の遅れ情報を一覧できるシステムを開発しました。自由部門では、農家向け環境センサ活用システム「サーモマイスター—IoTでハウス換気判断支援—」を提案し、農業試験場と連携して完成度を高めました。本選では、学生達はプレゼンテーション、マニュアル審査、デモンストレーション審査で奮闘しました。学生達のシステムが評価され、課題部門で、「やまおくのほそみち」が優秀賞（第2席）と、日立製作所企業賞を、「StarGallery」がさくらインターネット企業賞を受賞しました。自由部門では、「サーモマイスター」が優秀賞に次ぐ特別賞を受賞しました。



課題部門「やまおくのほそみち」



自由部門「サーモマイスター」

競技部門は、広い会場を活かしたフィールド上での占有陣地ポイントを競う陣取りゲームで1チームは3名、1名が司令塔となって戦術をプログラムで判断し、フィールド上の2名にカードやサインで指示して、より多くのポイントを獲得する対戦形式で行われました。競技メンバーは、今年こそ決勝進出、優勝を目指して開発と競技の練習を行って臨みました。相手の動きを随時入力しながら最高得点を目指すアルゴリズムのプログラム完成度が高く、予選を突破し、ベスト16、8と勝ち進み、準々決勝に勝ってベスト4進出。準決勝で、今回優勝した強豪校仙台高専名取キャンパスに惜しくも敗れ3位となりましたが、阿南高専としては過去最高の競技成績を獲得できました。

競技部門、課題部門、自由部門の3部門でいずれも、過去最高の賞を受賞しました。また、企業賞を含めて本選出場4チームが全て受賞という結果を残せました。学生達は、今後も上位入賞を目指したいと意気込んでいます。今後とも変わらぬ皆様からのご声援・ご協力よろしくお願いします。



第3位

四国移動型&自律型ロボットトーナメント2018 (SMART2018) の開催

化学コース 釜野 勝
情報コース 安野恵実子

2018年10月28日(日)、アスティとくしまにて、四国移動型&自律型ロボットトーナメント2018 (SMART2018) が開催されました。

今年度は本校が当番校で、競技課題は「Shooting Target (狙いを定めて)」でした。内容は2分間でストーンやピンポン球を確保、フィールド中央に投擲し、その合計得点を競う対戦型の競技でした。

大会には、中四国地区の高校生、高専生、大学生、大学院生の総勢23チーム69名の参加がありました。本校からは4チーム出場し、決勝トーナメント進出を目標に予選リーグを戦いました。その結果、「たーぼー」、「徳島太郎」、「恵実子ハッピー」の3チームが予選を突破し、決勝トーナメントに進出しました。U-18部門決勝トーナメントでは「徳島太郎」は初戦敗退、「たーぼー」は初戦を突破したものの、準決勝で惜しくも敗退、3位決定戦でも敗れてしまいました。一般部門決勝トーナメントに進出した「恵実子ハッピー」は、予選リーグで非常に安定した力を発揮し、優勝候補の1つとして期待されていました。しかし、1回戦で思わぬアクシデントに襲われ、残念ながら敗退してしまいました。

閉会式では予選リーグで安定して高得点を獲得していたことが実行委員の先生方にも高く評価され「特別賞」を受賞しました。参加した学生は、来年度の大会に向けさらなる技術の向上を誓いました。今後ともご声援いただけますよう、よろしくお願いします。



競技会の様子



集合写真

U-18部門「徳島のバラ2号」	坂本侑生 (2E) 坂井 卓 (1-1) 柳田倫伸 (3M)
U-18部門「たーぼー」	廣永稜太 (2I) 添木佑翔 (1-4) 梯 翔伍 (2C)
U-18部門「徳島太郎」	栗原 悠 (2I) 江口魁人 (1-4) 貞持壮佑 (2I)
一般部門「恵実子ハッピー」	坂野陽一 (5I) 櫻田雄一 (5I) 樫野元晴 (5I)

高専ロボコン2018 四国地区大会出場報告

機械コース 川畑 成之

本年度、高専ロボコン四国地区大会は2018年10月7日、香川高専高松キャンパス第1体育館にて開催されました。本年度はペットボトルを投げてテーブルに立たせる「Bottle Flip Cafe（ボトルフリップカフェ）」を競技テーマとして実施されました。自動制御ロボットが必須となり、技術の高度化が始まった大会となりました。

本校から出場した2チームを紹介します。



ペットボトルリロード機構を備えたローラー射出型ロボットで、走行機構には全方位移動機構を備え、テーブルの位置に併せて最適な経路で移動する制御を試みた意欲的なシステムとなっています。走行速度は大会中1、2位を争うものでしたがセンサの調整が本番フィールドでうまくいかず、予選リーグで敗退することとなりました。



各テーブルに対応した自作エアシリンダによる射出機構を6台備えるとともに、フィールド外に置いたレーザー距離センサからの情報を活用して、自己位置推定を試みる機能を搭載したロボットでした。テストでは比較的正常に動作していたのですが、本番フィールドではセンサが上手く働かず、自動ロボットが動作できないという結果になりました。



大会では両チーム、性質の異なるアイデアによって上位進出をうかがいましたが、両チーム予選リーグで敗退し、全国大会出場とはなりませんでしたが、しかしながら大会直後から、新たな技術開発を始めており、学生は意欲的に取り組んでおります。来年度は本校が大会会場となります。今後も皆様からの変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。



第15回 全国高等専門学校デザインコンペティション (デザコン2018 in 北海道) 参加報告

建設コース 森山 卓郎



11月10日(木)～11日(金)に釧路市観光国際交流センターで開催された第15回全国高等専門学校デザインコンペティション2018 (デザコン2018 in 北海道) に参加しました。デザコンは、構造デザイン、空間デザイン、創造デザイン、AMデザイン、ブレデザコンの各部門で競技やプレゼンが行われていますが、今年度は本校からは構造デザイン部門のみに参加しました。

今年度の構造デザイン部門の競技は、銅線を素材とした橋梁を作成し、集中荷重と移動荷重を用いた載荷試験による耐荷性能と審査員（豊橋技術科学大学と長岡技術科学大学の構造系の先生方と国土交通省北海道開発局の方）によるデザイン性の評価の総合点で競いました。笹田先生指導のもと、『かまぼこ』（5C地道さん、橋本君、渡辺君）と『トラペゾイドC』（5C谷君、ソコさん、遠山君、4Cザヤさん）の2チームが参加しました。両チームとも途中で崩壊することなく、最後まで善戦しましたが、入賞はかないませんでした。

総合成績は、参加した58チーム中、『かまぼこ』は18位で、『トラペゾイドC』は20位でした。

また、今回構造デザイン部門ではモンゴル高専と新モンゴル高専のチームの参加もあり、会場の注目を集めました。本校のモンゴルからの女子留学生2名も、モンゴルのチームの人達と交流していたようです。

来年度は東京都立産業技術高専主管で12月7日(木)～8日(金)に大田区産業プラザPiO（東京都）で開催予定です。ロボコンやプロコンに比べればまだマイナーなイベントかと思いますが、今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。最後になりましたが、御協力いただいた本校教職員ならびに後援会の皆様に御礼申し上げます。



第40回 四国地区高等専門学校 総合文化祭

12月15日(土)、16日(日)の2日間、三豊市文化会館マリノウエーブと三豊市詫間福祉センターに於いて第40回四国地区高等専門学校総合文化祭が開催されました。

今年度のテーマは『絢爛』。それぞれの分野で輝く姿を見せて欲しいという願いが込められています。四国5高専6キャンパスから24部門に文化系クラブの学生が集いました。

本校からは100名の学生が参加し、プログラミングコンテスト競技部門で優勝、英語スピーチコンテスト自由弁論部門で建設コース3年奥村公香さんが第2位となりました。各高専の学生会による交歓会、留学生の交流会も開催されました。



書道展示



ミニプロコン優勝



吹奏楽

第13回 蒼阿祭

第13回蒼阿祭を終えて

蒼阿祭執行委員長 4E 藤川 嶺 雄

平成最後の蒼阿祭、皆様のおかげで盛大に、無事執り行うことができました。今年で13回目となる蒼阿祭ですが、例年の盛り上がりを超えるべく、執行委員一同、準備に励んできました。

蒼阿祭では沢山のクラスや部活動が模擬店を出展しており、いたるところで宣伝の音が響き渡り、活気づいていました。さらに各コースの専門展示も、今まで自分達が学んできたものを楽しみながら知ってもらうために体験できるコーナーを設けたりすることで、より面白いものことができました。中でも文化部は特に活躍していました。書道部や写真部、美術部は自分達の最高の作品を展示し、ワンダーフォーゲル部は憩いの場、茶道部はお茶や和菓子、落語部は笑いを提供してくれました。そして体育館では、ストリートダンス部によるパフォーマンスや、演劇部による公演、さらには吹奏楽部のコンサートも見どころになっていました。そしてなんととっても毎年、最高の盛り上がりを見せてくれる軽音部がどこよりも楽しくて盛り上がるライブを奏でてくれました。

今年の蒼阿祭の成功は、ご来場された方々、悠久の先輩や先生方、学生課の方々、そして学生のおかげです。それも、全員が蒼阿祭のために一生懸命になった成果だと思います。本当にありがとうございました。



建設専門展示



軽音楽



落語

笑遊亭

▶本校の人権教育

阿南高専では、「大学人権を基軸」として人権教育に取り組んでいます。具体的には、中学・高校人権と大学人権との融合により、技術者に必須の技術者倫理への接続を行っています。

本科低学年では各教科学習における包含的な人権教育に加え、LHRにおいても人権学習を実施しています。専攻科では「技術者倫理」の授業等で、具体的な事例を通じて倫理的問題を考え、将来技術者として社会に貢献していく上で必要な工学的倫理観の育成を行っています。

本年度の活動紹介

▶「身元調査お断り」ワッペン運動

本校は、阿南市人権教育協議会高校・高専・特別支援学校教育部会の一員として人権啓発活動の推進に取り組んでいます。その中心的な活動が、「身元調査お断り」ワッペン運動です。今年度も9月22日にフジグラン阿南店で啓発活動を実施され、本校学生と教員が参加しました。



▶人権啓発作品の応募

平成30年度阿南市人権啓発作品（ポスター、作文、標語）の募集について、本校からも作品の応募を行いました。その結果、標語およびポスターにおいて以下の学生の作品が最優秀および特選に選ばれました。また、標語で7名、ポスターで2名、作文で3名の学生の作品が入選に選ばれました。入選者の氏名はp.16各種大会報告を参照ください。



ポスター

特選 1年4組 島田倖多

標語

最優秀 31 吉木史香

「ダメいじめ しないさせない 見逃さない」

別れの言葉

自然に愛された阿南

一般教養 川崎敏和

阿南は自然に愛されている。

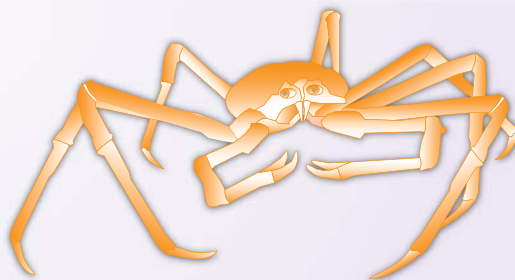
春は蟹。タカアシガニが市場に出現する。世界最大のこの深海ガニは産卵のため浅瀬に上がってきて網にかかるのだ。夏は鰯。素揚げ、タタキ、刺身と調理の練習になる。初夏のサヨリは透明可憐で美しい。焼くと刺身の何倍もの甘さが口いっぱいに広がり嬉しくなる。天然ウナギは、鰻本来の味がわかる白焼きがお勧めだ。

秋も蟹。モズクガニは小さいながら十数匹で千円。調理されまいと逃亡するほど元気なので東京の上海蟹より旨い。

冬は烏賊。色素細胞の変化が面白い。透明な身はとても甘い。干してスルメにしてもいい。雑煮に一切れ入れるとぐっと旨くなる。活ダコの吸盤と格闘するのも楽しい。

岩牡蠣は一年を通してちょいちょい見かける。スタチでそのままご馳走さ。

豊富な食材に後ろ髪ひかれつつ阿南を離れるが、少し前に良いことがあった。昨年の夏は人生で一番充実した夏休みだった。研究・折り紙創作とも順調で、新作は今なお出来続けている。一昨年の夏は人生で一番楽しいものとなった。ワイワイ遊んでくれた学生諸君、そしてその環境を与えてくださった教職員のみなさまのお蔭だ。この場をかりてお礼申し上げる。ありがとう。



図書館便り

学生図書委員会の活動



ブックハンティング に行ってきました!!



11月4日(日)に紀伊國屋書店(そごう徳島店内)にて、ブックハンティングを行いました。短い時間でしたが、たくさんの本を選んでくれました。

～ブックハンティングに参加して～

1年4組 安藤 優作

初めてのブックハンティングに参加させていただきました。プログラミング関連の本を買おうと思っていましたが、予算の関係上そこまで多くは買えませんでした。また学習に役立てていきたいです。

2 E 藤田 悠平

僕が今回参加した理由は、本校図書館に僕の好きな作家の本があまり多くなかったので、多くの人に知ってほしいからでした。普段本屋に行き、本を選ぶのとは違ったおもしろさがあり、また機会があれば参加したいと感じた。

3 I 品川裕依菜

この度参加させて頂き、情報系専門書を重点的に選びました。いざ探し始めると、充実のラインナップで非常に悩みました。あれで良かったのかと今でも思いますが、私が選んだ本が少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。

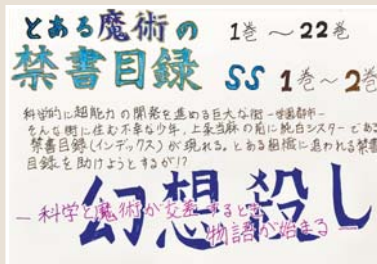
5 Z 拝 郷 朱 夏

普段は買う本を決めてから本屋に行くため、店内を見て回って欲しい本を探すのは新鮮な気持ちでした。また、学生が買うには高い専門書を選べるのが有難いです。今後また機会があれば参加したいです。



～学生図書委員オススの一冊～

オススしたい本のポップを描いてもらいました。その中からいくつかを紹介します。

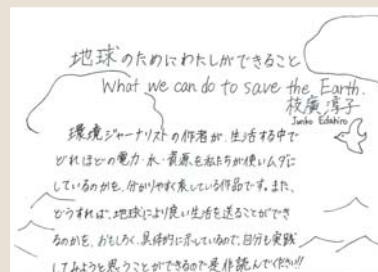


1年1組
細川 遼

文庫・新書コーナー
913.6||Ka31

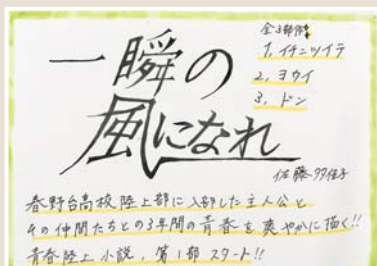
2 C
吉村聖優

閲覧室
519.04||E21



4 E
梶田文子

閲覧室
913.6||Sa85



4 Z
郡 泉花

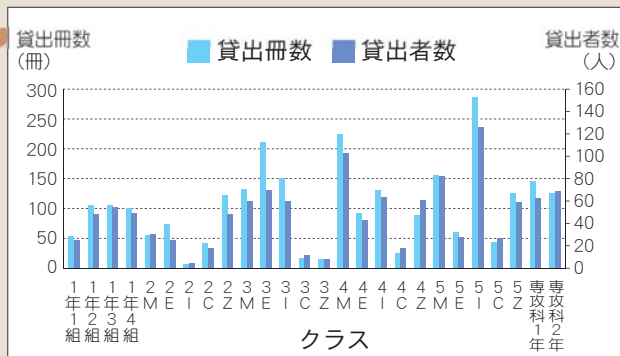
閲覧室
804||Sa62



紹介した本は図書館に配架しています。

クラス別図書貸出状況

平成30年度4月～12月のクラス別貸出状況です。
貸出の一番多かったクラスは300冊近くありました。
貸出図書の傾向としては、『TOEICテスト公式問題集』シリーズが多く貸し出されました。小説では、直木賞を受賞した『鏡の孤城』(辻村深月著)が人気でした。
今年度あまり図書館を利用しなかった学生さんも、来年度はぜひ利用してみてください!!



学生アルバイトより

一年間、学生アルバイトをして思ったことを綴ってもらいました。

図書館アルバイトとして、感じたことは、それぞれのコースの専門書を貸出している学生は、とても勉強熱心で、私も見習わなければと思いました。また、図書館で貸出可能なDVDは、種類が多く、最近のものもあるので、ぜひ、見に来てください。おすすめします。

大変だったことは、数回、テーマに沿って本のPOPを作る機会があったのですが、色使いや文字のフォント、配置などのようなセンスが求められることが苦手なので、苦労しました。

5Z 梶野 倖生

一年間のアルバイトを通して、私はPOP作りが一番心に残っています。興味を持ってもらえるようなテーマや本の選択、デザインやレイアウトに毎度頭を悩ませました。紹介した本が初めて借りられた時、とても感動したのを覚えています。頑張ったよかったと思えました。

また、POP作りはさまざまな本と出会うきっかけをくれました。たくさん本に触れ、それらの良さを自分なりに表現することで、今までよりもっと本を好きになれた気がします。

4M 正 瑞来 夢

一年間お疲れ様でした!!

図書館職員からの推薦図書

(新着図書から紹介します)

『自衛隊防災BOOK』



マガジンハウス 編

日頃から、災害の備えや心構えが出来ますか？地震、台風、大雨など災害列島の日本。災害の中で、私たちの身近な南海トラフ地震もいつ起きてもおかしくない状況で、被災者となるリスクにさらされています。

この図書は、災害時はもちろん、日常生活で役立つノウハウも、イラストや写真で載っていて、わかりやすく解説されています。日頃から防災意識を高め、様々な知識を身につけるきっかけを与えてくれる一冊となっています。

*閲覧室：369.3||Ma29

『完全な真空』



スタニスワフ・レム 著

書評集というものは世間に数多く出版されている。本書もSFをはじめとする作品の書評集である。SF作家として名高いレムの書評というだけあって、作品に対する的確な指摘が随所に見られる。

きっと、この書評を読んだ人は評された小説を手にとって読みたくなること間違いなしだろう。

ただし、本書は架空の小説を題材にした書評集なので、残念なことにもう頑張っても本を手に入れることが出来ないのが残念だ……。

*閲覧室：989.8||L54

図書館からのお知らせ



開館時間

- 平日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
- 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、休館)
- 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。

(貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。)

貸出冊数

5冊まで (休業期間中は、10冊まで)

貸出期間

15日間 (休業期間中は、延長)

館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVDコーナーもご利用になれます。詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106 E-mail tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。

URL https://www.anan-nct.ac.jp/facility_guide/library/

投書箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。



各種大会報告

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
第48回徳島県高等学校新人陸上競技大会					
H30.9.16	個人	男子 棒高跳	第1位	2C	谷 知 篤
	団体	男子 フィールド	第1位		
H30.9.17	個人	男子 砲丸投	第2位	1-3	坂 野 翔 哉
	個人	男子 走幅跳	第3位	2E	大 前 歩
	個人	男子 やり投	第3位	2E	皿 宮 昌 幸
第25回50射選手権大会					
	個人	高校南部ブロック男子	優勝	2E	山 口 堅 也
H30.7.22	個人	高校南部ブロック女子	優勝	2C	上原明日香
	個人	高校南部ブロック女子	第3位	2C	太 田 朱 音
H30.9.15	個人	高校総合男子	優勝	2E	山 口 堅 也
	個人	高校総合女子	第7位	2C	上原明日香
平成30年度 阿南市体育祭弓道の部					
H30.9.30	個人	男子個人の部 高専A	優勝	2E	山 口 堅 也
	団体	団体の部 高専Aチーム	優勝	2M	岩 佐 瑞 樹
				2E	山 口 堅 也
				2E	大 原 空
	団体	団体の部 高専Gチーム	準優勝	4E	荒 井 誉 麗
				3Z	西 岡 巧
				3I	坂 東 璃 音
	個人	男子個人の部 高専G	準優勝	3I	坂 東 璃 音
3nd STI-GIGAKU 2018 Conference					
H30.10.6	個人		ベストポスター賞	5Z	奥 田 翔 悟
学生限定オープンデータアプリコンテスト					
H30.10.14	団体	【アイデア部門】 人口移動による 徳島県の特徴調査アプリ	最優秀賞	5I	森 大 輝
				4I	一 色 泰 我
				4I	小 林 七 海
				4I	多 田 魁 登
				4I	百 々 優 志 郎
	個人	【アプリ構築部門】 へるぼー ~徳島県のオープンデータと連動 した医療施設提案システム~	優秀賞	5I	森 大 輝
eco-MASTER GRIND PRIX 2018					
H30.10.26	団体	学生部門	第3位	3Z	岡内駿之介
				3Z	鳥 羽 結 斗
				3Z	藤 井 佑 衣
12th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2018					
H30.10.28	個人	SHORTBOARD MEN'S OPEN	優勝	5M	武 知 虎 南
全国高等専門学校第29回プログラミングコンテスト					
H30.10.28	団体	課題部門 やまおくのほそみち ー見張り灯籠で安心安全ー 優秀賞 日立製作所企業賞		4I	松 原 稜
				2I	宮 本 圭 一 郎
				5I	小 野 瀬 博 貴
				3I	松 浦 圭 吾
	団体	課題部門 Star Gallery ー素敵な星空を見に行こうー 敢闘賞 さくらインターネット企業賞		4I	狩 野 真 毅
				5I	中 野 大 成
				4I	多 田 魁 登
				5I	木 内 拓 実
				3I	小 倉 大 輝
	団体	自由部門 サーモマイスター ーIoTでハウス換気判断支援ー 特別賞		5I	谷 口 響
				3I	吉 木 史 香
				5I	酒 井 和 也
				5I	澤 口 直 弥
				3I	中 道 翼
	団体	競技部門 大変申し訳ありませんでした。 第3位		4I	橋 本 綾 斗
				4I	渡 部 悠 真
				3I	三 河 多 聞
第18回四国移動型&自律型ロボットトーナメント(SMART2018)					
H30.10.28	団体		特別賞	5I	坂 野 陽 一
				5I	櫻 田 雄 一
				5I	樫 野 元 晴

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
Sigfoxで生活を楽しむ「IoTアイデアコンテスト」					
H30.12.8	団体	「水の都の水先案内人」	優秀賞	5I	小 野 瀬 博 貴
				4I	柿 久 保 智 貴
				4I	狩 野 真 毅
				4I	松 原 稜
				4I	福 本 小 夏
平成30年度 人権啓発標語 ポスター及び人権作文					
H30.12.9	個人	標語部門	最優秀賞	3I	吉 木 史 香
	個人	ポスター部門	特選	1-4	島 田 倅 多
	個人	標語部門	入選	3Z	佐 久 間 裕 己
				3C	松 本 礼 央
				3I	松 浦 圭 吾
				3E	神 戸 優 多
				3E	前 川 菜 々 花
				3C	國 見 美 優
				3Z	森 吉 瑛 里 子
	個人	ポスター部門	入選	1-2	長 谷 川 菜 月
				1-4	山 下 真 侑
	個人	作文部門	入選	2I	高 橋 直 樹
				2Z	吉 田 早 希
				2Z	西 城 尚 輝
第40回四国地区高等専門学校総合文化祭					
H30.12.16	団体	プログラミングコンテスト 競技部門	優勝		
	個人	英語スピーチコンテスト 「自由弁論部門」	第2位	3C	奥 村 公 香
	個人	英語スピーチコンテスト 「暗唱部門」	第4位	2Z	森 ひ なた
	個人	書道部門	佳作	4M	鈴 木 唯 斗
				4E	橋 本 日 菜 子
				3C	奥 村 公 香
	個人	写真部門	佳作	5I	野 田 真 理 菜
				5I	藤 田 理 紗 子
				4I	初 汐 一 真
第38回徳島県高等学校新人学年別卓球大会					
H30.12.25	個人	2年生男子シングルス	第1位	2E	中 川 功 士
	個人	1年生男子シングルス	第3位	1-3	木 村 孝 太 郎
平成31年 射初め式					
H31.1.5	個人	高校男子	準優勝	2E	山 口 堅 也
	個人	高校男子	第3位	2M	岩 佐 瑞 樹
第16回阿南市バドミントン選手権大会					
H31.1.27	個人	男子シングルス2部	第3位	1-3	森 野 純 一 郎
第3回とくしま学生ビジネスプラン道場					
H31.1.27	団体		準グランプリ	4M	野 田 篤 志
				4I	狩 野 真 毅
				4M	鈴 木 唯 斗
				4Z	大 西 優
				4E	小 川 悠 香
				4C	前 川 忍

編集 後記

高専便り117号をお送りします。
今号は卒業・修了特集号です。
卒業・修了された皆様、おめでとうございます。
4月からの新生活頑張ってください。

平成30年度 広報情報室高専便り編集委員

中 島 一 (一般教養) 城 本 春 佳 (一般教養)
山田耕太郎 (一般教養) 大 北 裕 司 (機械コース)
安野恵実子 (情報コース)

阿南工業高等専門学校 学生課

電話 (0884) 23-7100

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

E-mail : gakusei@anan-nct.ac.jp